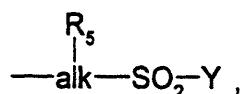


の反応性基であり、

R_4 は、水素、 $C_1 - C_4$ アルキル（これは、非置換又はヒドロキシ、スルホ、スルファト、カルボキシ若しくはシアノで置換されている）、又は下記の式：

【化3】



（式中、 R_5 は、下記で定義される）の基であり、

R_5 は、水素、ヒドロキシ、スルホ、スルファト、カルボキシ、シアノ、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ アルコキシカルボニル、 $C_1 - C_4$ アルカノイルオキシ、カルバモイル又は基- $SO_2 - Y$ であり、

R_6 は、水素又は $C_1 - C_4$ アルキルであり、

alk 及び alk_1 は、互いに他から独立して、直鎖状又は分岐鎖状 $C_1 - C_6$ アルキレンであり、

アリーレン(arylene)は、非置換又はスルホ-、カルボキシ-、ヒドロキシ-、 $C_1 - C_4$ アルキル-、 $C_1 - C_4$ アルコキシ-若しくはハロ置換フェニレン又はナフチレン基であり、

Y は、ビニル又は基- $CH_2 - CH_2 - U$ であり、 U は、離脱基であり、

Y_1 は、基- $CH(Hal) - CH_2(Hal)$ 又は- $C(Hal) = CH_2$ （ここで、 Hal は、塩素又は臭素である）であり、

W は、基- $SO_2 - NR_6 -$ 、- $C(=O)NR_6 -$ 又は- $NR_6CO -$ （ここで、 R_6 は、上記と同義である）であり、

Q は、基- $O -$ 又は $NR_6 -$ （ここで、 R_6 は、上記と同義である）であり、

n は、0又は1の数であり、そして

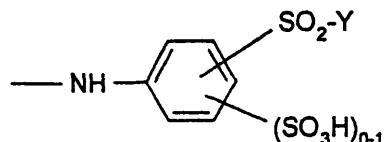
V_1 及び V_2 は、互いに他から独立してN、C-H、C-C1又はC-Fである]で示さ

れる反応染料と接触させ、捺染された纖維材料の固着をさらなる固着処理工程を用いないで実施することを含む方法。

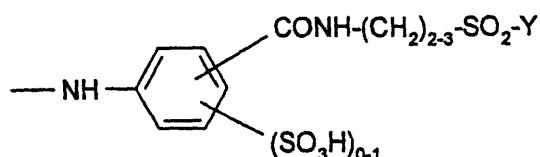
【請求項 2】 B が、式 : - C H₂ - C H (R₇) - (式中、 R₇ は C₁ - C₄ アルキルである) の基である、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】 T が、式 (2 c) 又は (2 d) :

【化 6】



(2c') 又は

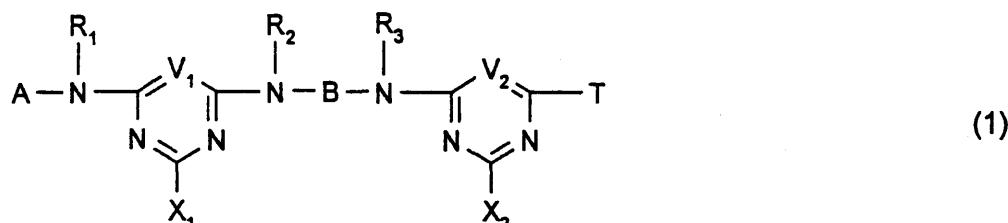


(2d')

(式中、 Y は、ビニル、 - クロロエチル又はスルファトエチルである) の基である、請求項 1 ~ 2 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 4】 式 (1) :

【化 7】



[式中、

A は、モノアゾ、ポリアゾ、金属錯体アゾ、アントラキノン、フタロシアニン、ホルマザン又はジオキサジン発色団の基であり、

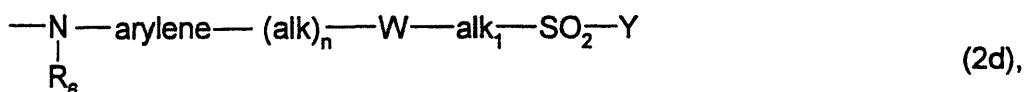
R₁、R₂ 及び R₃ は、互いに他から独立して、水素、又は非置換若しくは置換 C₁ - C₄ アルキルであり、

X₁ 及び X₂ は、ハロゲンであり、

B は、 - N H - 、 - N (C H₃) - 及び - O - からなる群よりの 1 、 2 若しくは 3 員で中断されてよく、そして非置換又はヒドロキシ、スルホ、スルファト、シアノ若しくはカルボキシで置換されている C₂ - C₁₂ アルキレンであり、

T は、式 (2 a) 、 (2 b) 、 (2 c) 、 (2 d) 、 (2 e) 又は (2 f) :

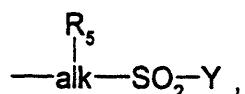
【化 8】



の反応性基であり、

R_4 は、水素、 $C_1 - C_4$ アルキル（これは、非置換又はヒドロキシ、スルホ、スルファト、カルボキシ若しくはシアノで置換されている）、又は下記の式：

【化9】



（式中、 R_5 は、下記で定義される）の基であり、

R_5 は、水素、ヒドロキシ、スルホ、スルファト、カルボキシ、シアノ、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ アルコキシカルボニル、 $C_1 - C_4$ アルカノイルオキシ、カルバモイル又は基- $SO_2 - Y$ であり、

R_6 は、水素又は $C_1 - C_4$ アルキルであり、

alk 及び alk_1 は、互いに他から独立して、直鎖状又は分岐鎖状 $C_1 - C_6$ アルキレンであり、

アリーレンは、非置換又はスルホ-、カルボキシ-、ヒドロキシ-、 $C_1 - C_4$ アルキル-、 $C_1 - C_4$ アルコキシ-若しくはハロ置換フェニレン又はナフチレン基であり、

Y は、ビニル又は基- $CH_2 - CH_2 - U$ であり、 U は、離脱基であり、

Y_1 は、基- $CH(Hal) - CH_2(Hal)$ 又は- $C(Hal) = CH_2$ （ここで、 Hal は、塩素又は臭素である）であり、

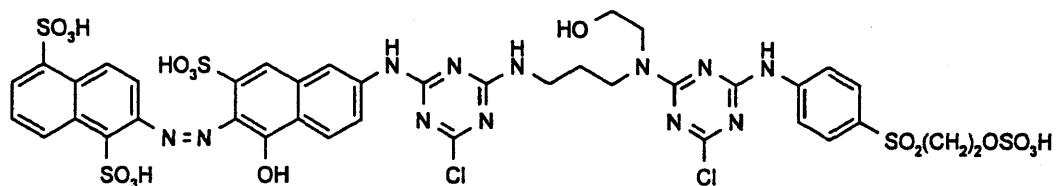
W は、基- $SO_2 - NR_6 -$ 、- $C(=O)NR_6 -$ 又は- $NR_6CO -$ （ここで、 R_6 は、上記と同義である）であり、

Q は、基- $O -$ 又は $NR_6 -$ （ここで、 R_6 は、上記と同義である）であり、

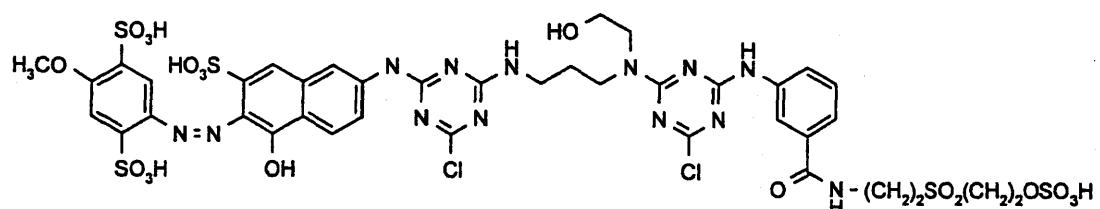
n は、0又は1の数であり、そして

V_1 及び V_2 は、互いに他から独立してN、C-H、C-C1又はC-Fである]で示されるが、下記の式：

【化10】



及び



の染料を除く、反応染料。

【請求項5】 請求項4記載の式(1)で示される反応染料を含む捺染のり。